

九州医療科学大学

アセスメントポリシー（学修成果評価の方針）

九州医療科学大学では、各学部・学科等毎に定めたディプロマポリシー（DP）、カリキュラムポリシー（CP）及びアドミッションポリシー（AP）に基づき、3段階（レベル）での学修成果評価の方針を次のとおり定めています。

機関レベル（大学全体）

本学の特色である専門資格等に対する学生の就職率、免許取得率及び卒業時アンケートなどから学修成果の達成状況を評価します。

教育課程レベル（学部学科等）

各学部・学科等に定められた所定の教育課程における資格・免許の取得状況、単位修得状況、GPA並びに外部の標準化されたアセスメントテスト（GPS-Academic）等を活用し、教育課程全体を通した学修成果の達成状況評価を行います。

科目レベル（授業科目等）

シラバスに明示された授業科目ごとの学修目標及び学修内容に対する評価を、科目ごとに実施する授業アンケート等の結果から評価すると共に、単位取得率や資格取得率により学修成果達成状況を評価する。

●検証方法と時期

	入学時前後	在学中	卒業時前後
機関 レベル	・入学試験 ・入学前アンケート ・入学時学修動向調査	・異動率調査（休退学等） ・学修行動・学生生活アンケート	・学位授与数 ・就職率 ・卒業後アンケート
教育課程 レベル	・入学生意識調査 ・GPS-Academic ・基礎ゼミ	・進級率（留年率含む） ・学内外模擬試験 ・GPS-Academic ・授業アンケート ・学修行動・学生生活アンケート	・卒業率（卒延率含む） ・国試等合格率
科目 レベル	・入学時基礎学力試験（国語）	・授業アンケート ・成績評価（単位取得状況）	・卒業研究 ・GPA分布
対応事務部	入試広報室 教務課	教務課	キャリアサポートセンター 教務課

【目的】

- 九州医療科学大学社会福祉部臨床福祉学科では、学生の学修目標の到達度を高めるために、また、教育課程レベル（カリキュラム）および科目レベル（授業）の適切性を担保するために、学生の学修成果と教員の教育成果に関する情報の収集・分析・評価に係る方針、及び学生による自己評価の方針をアセスメント・ポリシーに定める。

【学修成果の確認・教育の改善のために学科として収集・分析・評価する情報】

- 臨床福祉学科では以下の情報を用い、学生の学修成果を確認し、3つのポリシー（AP,CP,DP）、建学の理念に基づく取り組みの検証及び教育の改善に係る意思決定に活用する。

	入学時前後 (APに係る検証)	在学中 (CPに係る検証)	卒業時前後 (DPに係る検証)
教育課程 レベル	- 各種入学試験（志望理由書、調査書、小論文、面接評価、各科目試験） - 入学時アンケート - 国語統一試験	- 年次毎の修得単位数 - GPA - 各科目の成績評価 - 学内外模擬試験 - 授業アンケート - 出席率 - 学習行動・学生生活に関するアンケート - 学修ポートフォリオ - 進級率 - 退学（除籍）者数・率	- 修得単位数総数 - GPA（DPサプリメント） - 学修ポートフォリオ - 卒業研究（発表を含む） - 卒業者数・率 - 国家試験合格者数・率 - 就職者数・率 - 卒業時アンケート - 卒後（就職先）アンケート
科目 レベル		- 成績評価（分布・取得率） - 出席率 - 授業アンケート - 学内外模擬試験 - 学修ポートフォリオ	

【学生による自己評価】

- 修得目標の達成状況を学生自身が把握し、学修の振り返りとその改善に活用させる。各年次において、学生は学修ポートフォリオ上で、履修成績状況、GPA 推移表、単位修得状況、DP 達成率を参照して、修得目標の達成度に関する自己評価を実施する。また、合わせて、その時点までの学修の振り返りと学修目標や学修計画の修正を行う。それらを教員が確認し、指導を行う。

【目的】

1. 九州医療科学大学社会福祉部スポーツ健康福祉学科では、学生の学修目標の到達度を高めるために、また、教育課程レベル（カリキュラム）および科目レベル（授業）の適切性を担保するために、学生の学修成果と教員の教育成果に関する情報の収集・分析・評価に係る方針、及び学生による自己評価の方針をアセスメント・ポリシーに定める。

【学修成果の確認・教育の改善のために学科として収集・分析・評価する情報】

2. スポーツ健康福祉学科では以下の情報を用い、学生の学修成果を確認し、3つのポリシー（AP,CP,DP）、建学の理念に基づく取り組みの検証及び教育の改善に係る意思決定に活用する。

	入学時前後 (APに係る検証)	在学中 (CPに係る検証)	卒業時前後 (DPに係る検証)
教育課程 レベル	・各種入学試験（志望理由書、調査書、小論文、面接評価、各科目試験） ・入学時アンケート ・国語統一試験 ・GPS-Academic	・年次毎の修得単位数 ・GPA ・各科目の成績評価 ・学内外模擬試験 ・GPS-Academic（3年次） ・授業アンケート ・出席率 ・学習行動・学生生活に関するアンケート ・学修ポートフォリオ ・進級率 ・退学（除籍）者数・率	・修得単位数総数 ・GPA（DPサプリメント） ・学修ポートフォリオ ・卒業研究（発表を含む） ・卒業者数・率 ・国家試験合格者数・率 ・各種認定試験合格者数・率 ・就職者数・率 ・卒業時アンケート ・卒後（就職先）アンケート
科目 レベル		・成績評価（分布・取得率） ・出席率 ・授業アンケート ・学内外模擬試験 ・学修ポートフォリオ	

【学生による自己評価】

3. 修得目標の達成状況を学生自身が把握し、学修の振り返りとその改善に活用させる。各年次において、学生は学修ポートフォリオ上で、履修成績状況、GPA推移表、単位修得状況、DP達成率を参照して、修得目標の達成度に関する自己評価を実施する。また、合わせて、その時点までの学修の振り返りと学修目標や学修計画の修正を行う。それらを教員が確認し、指導を行う。

九州医療科学大学薬学部薬学科アセスメント・ポリシー

【目的】

1. 九州医療科学大学薬学部薬学科では、学生の学修目標の到達度を高めるために、また、教育課程レベル（カリキュラム）および科目レベル（授業）の適切性を担保するために、学生の学修成果と教員の教育成果に関する情報の収集・分析・評価に係る方針、及び学生による自己評価の方針をアセスメント・ポリシーに定める。

【学修成果の確認・教育の改善のために学科として収集・分析・評価する情報】

2. 薬学科では以下の情報を用い、学生の学修成果を確認し、3つのポリシー（AP, CP, DP）、建学の理念に基づく取り組みの検証及び教育の改善に係る意思決定に活用する。

	入学時前後 (APに係る検証)	在学中 (CPに係る検証)	卒業時前後 (DPに係る検証)
教育課程 レベル	・各種入学試験（各科目試験、小論文の得点） ・志望理由書・調査書の内容に基づく面接の評価 ・入学時、1年前期修了時学力テスト ・入学生意識調査	・年次毎の修得単位数・率 ・DP 毎の到達度達成率 ・GPA ・各科目の成績評価 ・授業評価アンケート ・学修ポートフォリオ（学生の自己評価を含む） ・薬学共用試験結果 ・出席率 ・進級率 ・同一年度入学生の進級率 ・休学者数・休学率 ・留年者数・留年率 ・転学部者数・転学部率 ・退学者数・退学率 ・除籍者数・除籍率	・修得単位数 ・DP 毎の到達度達成率 ・GPA ・学修ポートフォリオ（学生の自己評価を含む） ・卒業研究（発表を含む） ・卒業者数・卒業率 ・国家試験合格者数・合格率 ・就職者数・就職率 ・卒後（就職先）アンケート
科目レベル		・成績評価 ・学生授業評価アンケート ・出席率 ・授業実施時間 ・単位修得率 ・学修ポートフォリオ	

【学生による自己評価】

3. 修得目標の達成状況を学生自身が把握し、学修の振り返りとその改善に活用させる。各年次において、学生は学修ポートフォリオ上で、履修成績状況、GPA推移表、単位修得状況、DP 達成率を参照して、修得目標の達成度に関する自己評価を実施する。また、合わせて、その時点までの学修の振り返りと学修目標や学修計画の修正を行う。それらを教員が確認し、指導を行う。

九州医療科学大学薬学部動物生命薬科学科アセスメント・ポリシー

【目的】

1. 九州医療科学大学薬学部動物生命薬科学科では、学生の学修目標の到達度を高めるために、また、教育課程レベル（カリキュラム）および科目レベル（授業）の適切性を担保するために、学生の学修成果と教員の教育成果に関する情報の収集・分析・評価に係る方針、及び学生による自己評価の方針をアセスメント・ポリシーに定める。

【学修成果の確認・教育の改善のために学科として収集・分析・評価する情報】

2. 動物生命薬科学科では以下の情報を用い、学生の学修成果を確認し、3つのポリシー（AP, CP, DP）、建学の理念に基づく取り組みの検証及び教育の改善に係る意思決定に活用する。

	入学時前後 (APに係る検証)	在学中 (CPに係る検証)	卒業時前後 (DPに係る検証)
教育課程レベル	・各種入学試験（志望理由書、調査書、小論文、面接評価、各科目試験） ・入学時アンケート ・国語統一試験	・年次毎の修得単位数 ・GPA ・各科目の成績評価 ・学内外模擬試験 ・授業アンケート ・出席率 ・学習行動・学生生活に関するアンケート ・学修ポートフォリオ ・進級率 ・退学（除籍）者数・率	・修得単位数総数 ・GPA（DP サプリメント） ・学修ポートフォリオ ・卒業研究（発表を含む） ・卒業者数・率 ・国家試験合格者数・率 ・就職者数・率 ・卒業時アンケート ・卒後（就職先）アンケート
科目レベル		・成績評価（単位取得状況） ・出席率 ・授業アンケート ・学内外模擬試験 ・学修ポートフォリオ	

【学生による自己評価】

3. 修得目標の達成状況を学生自身が把握し、学修の振り返りとその改善に活用させる。各年次において、学生は学修ポートフォリオ上で、履修成績状況、GPA推移表、単位修得状況、DP 達成率を参照して、修得目標の達成度に関する自己評価を実施する。また、合わせて、その時点までの学修の振り返りと学修目標や学修計画の修正を行う。それらを教員が確認し、指導を行う。

九州医療科学大学 生命医科学部 生命医科学科アセスメント・ポリシー

【目的】

1. 九州医療科学大学生命医科学部 生命医科学科では、学生の学修目標の到達度を高めるために、また、教育課程レベル（カリキュラム）および科目レベル（授業）の適切性を担保するために、学生の学修成果と教員の教育成果に関する情報の収集・分析・評価に係る方針、及び学生による自己評価の方針をアセスメント・ポリシーに定める。

	入学時前後 (AP に係る検証)	在学中 (CP に係る検証)	卒業時前後 (DP に係る検証)
教 育 課 程 レ ベ ル	- 各種入学試験（各科目試験、小論文試験） - 志望理由書 - 調査書の内容及び面接での評価 - 入学時、基礎学力テストによる評価	- 年次毎の修得単位数 - DP 毎の到達度評価 - GPA - 外部試験結果（国家試験模擬試験） - GPS Academic - 学修ポートフォリオ（学生の自己評価を含む） - 進級率 - 同一年度入学生の進級率 - 休学者数・休学率 - 留年者数・留年率 - 転学部者数・転学部率 - 退学者数・退学率 - 除籍者数・除籍率 - 臨地実習前技能習得到達度評価	- 修得単位総数 - DP 毎の到達度達成率 - GPA - 学修ポートフォリオ（学生の自己評価を含む） - 卒業者数、卒業率 - 国家試験合格者数、合格率 - 就職者数、就職率
科 目 レ ベ ル		- 成績評価 - 臨地実習評価（臨地実習前到達度評価を含む） - 卒業研究（発表を含む） - 出席率 - 授業実施時間 - 単位修得率	

【学修成果の確認・教育の改善のために学科として収集・分析・評価する情報】

2. 生命医科学科では以下の情報を用い、学生の学修成果を確認し、3 つのポリシー (AP, CP, DP)、建学の理念に基づく取り組みの検証及び教育の改善に係る意思決定に活用する。

【学生による自己評価】

3. 修得目標の達成状況を学生自身が把握し、学修の振り返りとその改善に活用させる。各年次において、学生は学修ポートフォリオ上で、履修成績状況、GPA 推移表、単位修得状況、DP 達成率を参照して、修得目標の達成度に関する自己評価を実施する。また、合わせて、その時点までの学修の振り返りと学修目標や学修計画の修正を行う。それらを教員が確認し、指導を行う。

九州医療科学大学 臨床心理学部 臨床心理学科 アセスメント・ポリシー

【目的】

1. 九州医療科学大学臨床心理学部臨床心理学科では、学生の学修目標の達成度を高めるとともに、教育課程レベル(カリキュラム)および科目レベル(授業)の適切性を担保するため、学生の学修成果および教員の教育成果に関する情報の収集・分析・評価の方針、ならびに学生による自己評価の方針をアセスメント・ポリシーとして定める。

【学修成果の確認および教育改善のために学科として収集・分析・評価する情報】

2. 臨床心理学科では以下の情報を用いて学生の学修成果を確認し、3つのポリシー(AP・CP・DP)および建学の理念に基づく取り組みの検証、さらに教育改善に向けた意思決定に活用する。

	入学時前後 (APに係る検証)	在学中 (CPに係る検証)	卒業時前後 (DPに係る検証)
教育課程 レベル	・各種入学試験(志望理由書、調査書、小論文、面接評価、各科目試験) ・入学時アンケート ・国語統一試験	・年次毎の修得単位数 ・GPA ・各科目の成績評価 ・学内外模擬試験 ・授業アンケート ・出席率 ・学習行動・学生生活に関するアンケート ・学修ポートフォリオ ・進級率 ・退学(除籍)者数・率	・修得単位総数 ・GPA (DP サプリメント) ・学修ポートフォリオ ・卒業研究 ・卒業者数・率 ・国家試験合格者数・率 ・就職者数・率 ・卒業時アンケート ・卒業後(就職先)アンケート
科目 レベル		・成績評価(分布・取得率) ・出席率 ・授業アンケート ・学内外模擬試験 ・学修ポートフォリオ	

【学生による自己評価】

3. 学生は、自身の修得目標の達成状況を把握し、学修の振り返りと改善に活用する。各年次において、学修ポートフォリオ上で履修成績状況、GPA 推移、単位修得状況、DP 達成率を確認し、修得目標の達成度について自己評価を行う。また、これまでの学修の振り返りを踏まえて、学修目標および学修計画の修正を行う。これらを教員が確認し、必要な指導を行う。